

地域産業、地域社会へ貢献し、世界で喜ばれる製品を提供します。



— 地域住民との対話 —



地域社会と会社との関係を良好に保ち、かつ会社に対する理解を深めていただくために、近隣の地区役員の方々と情報交換会を定期的を実施し、近隣からのご要望、ご意見に対して迅速に対応できるよう連携をとっています。

— 地域産業、地域社会への貢献 —

近隣の伊勢崎市より産業振興貢献企業の表彰を受けました。



伊勢崎市産業振興貢献企業 感謝状

地域社会との交流を深めるために、福祉施設の皆様との交流会や工場周辺の環境リスクパトロール、ボランティア活動、地域イベントへの参加などを行っています。



工場周辺環境リスクパトロールの様子



福祉施設クリスマス訪問の様子

— 世界で喜ばれる製品の提供 —

澤藤電機の製品は、世界中のお客様にご愛用いただきお役に立っています。

電装品	発電機	冷蔵庫
 スタータ  オルタネータ  車載用コンピュータ  ハイブリッド車用モータ  電気自動車用モータ  バッテリーパック	 ELEMEX 発電機 SH3200EX  ELEMEX 発電機 SHT25D	 ENGEL 冷凍・冷蔵庫 MT45F  Pacifcool 冷凍・冷蔵庫 サンドページ

2024 Sustainability Report

サステナビリティ報告書

ダイジェスト版

Web版サステナビリティ報告書のご紹介

<https://www.sawafuji.co.jp/jp/csr/download/>

当社Webページ(上記URL)にて、社会性報告や環境報告などの詳細な内容(PDF)を紹介しています。本ダイジェスト版と併せてご一読いただければ幸いです。

澤藤電機CSR

検索



澤藤電機株式会社

〒370-0344 群馬県太田市新田早川町3番地

お問い合わせ先

経営企画部 サステナブル戦略室

TEL. 0276-56-7130

澤藤電機株式会社

SAWAFUJI ELECTRIC.,CO,LTD

トップメッセージ

澤藤電機は1934年に創立され、お陰様で2024年に「創立90周年」の節目を迎えました。これは、モノづくりに対する従業員のたゆまぬ努力・過去から現在まで築き上げた技術と信頼だけでなく、仕入先様の「誠実なモノづくり」の精神と品質向上・生産性改善などへの絶え間のない追求、さらにはお取引先様のご協力、近隣住民の方々のご理解ご協力など、多くのステークホルダーの皆様を支えられて成し得た結果と深く感謝しております。

今後は、例えば「お客様視点での使いやすさや補修のしやすさ」、「仕入先様が抱える製造条件や納入形態などの困りごとと解決」、「社内工程での作りやすさや保管のしやすさ」など、全てのステークホルダーの皆様喜んでいただける要素を広い意味での「商品力」と捉え、それらを備えた「新時代の商品」を追求することにより、社会に貢献し続けるサステナブルな企業を目指してまいります。

従業員一人ひとりが澤藤電機のあるべき姿を胸に抱き、意識・行動を変え総力を結集して取り組んでまいります。

澤藤電機株式会社
代表取締役社長兼執行役員社長 井上 雅央

基本理念

社 是 制定 1960年7月

1. 研究を進め技術を練磨し輝かしく躍進しよう
2. 顧客に対する責務と信義を守り社会に貢献しよう
3. 労協協調相互信頼により明るい職場を樹立しよう

経営理念 制定 1990年10月 改定 2001年4月

澤藤電機は良い商品を作り、企業としての社会的責任を果たし、関係する全ての人に栄を与える。

- * 顧客に感動を
- * 自然に清らかさを
- * 社業に携わる人に栄を

SAWAFUJI VISION



目指す方向性
培ってきたコア技術を生かし、「電気」に関すること」のソリューション企業を目指します

電 気 を つく る た め の た め の つ か う

中長期経営計画

＜澤藤電機の存在意義＞
働くモビリティ社会の中で課題解決の一翼を担い続ける

＜スローガン＞
エネルギー変換技術を進化させ、世界で働くモビリティ/プロフェッショナルユーザーの困りごとを解決

一人ひとりが意識・行動を変え、総力を結集
自ら光り輝き、魅力ある澤藤に

長期構想「チャレンジ2030」

2021 1% → 2024 4% → 2030 8% (目標)

中間目標: 24中計

2050 ありたい姿 (Sustainable Development Goals)

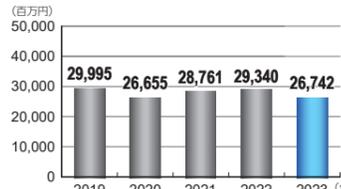
企業基盤を固め、事業ポートフォリオを変革し、世界のサワフジに

2023年度の業績

澤藤電機グループは各事業の収益性向上、業務効率化、生産性向上、原価低減などに取り組み、その結果、2023年度(第128期)における連結決算は、次の通りとなりました。

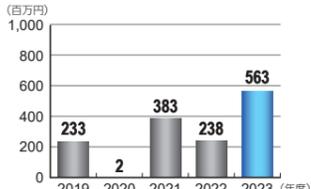
- 売上高: 26,742 百万円
- 営業利益: 563 百万円

□売上高の推移



年	2019	2020	2021	2022	2023
売上高(百万円)	29,995	26,655	28,761	29,340	26,742

□営業利益の推移



年	2019	2020	2021	2022	2023
営業利益(百万円)	233	2	383	238	563

ステークホルダーとの対話

澤藤電機では、お客様、地域社会、株主・投資家様、代理店・特約店様、仕入先様、社員などさまざまなステークホルダーとの対話を重ね、より良いパートナーシップを築いていきます。

お客様とともに

澤藤電機は、お客様の満足と信頼を第一に、お客様の期待に応えた製品・サービスの提供に努めています。

- **製品開発**
澤藤電機の開発部門は、持続可能な社会に貢献するために、電動化技術を主力商品とした開発体制の強化を行い、お客様のニーズに応えた付加価値をもった製品の開発にチャレンジし続けています。開発の「やり直し」を防止するため MBD (モデルベース開発) を導入して開発スピードの向上を図っています。
- **モノづくり**
お客様に感動を提供できるモノづくりをめざして、日々挑戦しています。
- **品質保証とサービス体制**
ISO9001 マネジメントシステムに沿った品質保証体制を構築して継続的改善を行っています。また、サービスネットワークを構築して速やかな対応を行っています。

地域社会とともに

澤藤電機は、社会への参画と環境への配慮の側面から、地域社会・国際社会に貢献してまいります。2023年度における主な取り組みは次の通りで、本誌最終ページでもご紹介しています。

- 日本赤十字社への献血協力
- 福祉施設の皆様との交流会
- 工場周辺の清掃活動、交通ボランティア
- 世界の子どもたちへのワクチン提供
- 地域イベント参加

株主・投資家様とともに

澤藤電機は、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様に適時適切な情報を開示し、事業活動の公正、透明性を期しています。

- **IR 情報について**
澤藤電機は、株主や投資家の皆様に対し、事業活動の内容を適時適切に開示することにより、当社に対する正しい理解を深めていただくことが重要であると考えております。IR (Investor Relations) 活動の一環として、決算発表時に公表している資料とは別に、当社の活動について幅広くご理解いただけるように、環境活動や新製品などのトピックスを掲載した株主通信を株主に送付しております。

代理店特約店様とともに

澤藤電機は、代理店・特約店様のネットワークを活用して、市販品、パーツ販売、市場情報収集、サービス体制構築などを行い、あらゆるシーンで代理店・特約店様とともに社会的な責任を全うするよう努めています。2023年度は、全国10拠点で会議を開催し、方針説明、コミュニケーション強化に努めました。また、代理店・特約店様のサービス力強化のために、講習会なども開催しました。

仕入先様とともに

澤藤電機は、取引のプロセスにおいてフェアであることを徹底し、最適な物品の調達を実行しています。そのために「相互信頼、共存共栄」を基本理念に信頼関係を築き、相互の発展・成長をめざしています。仕入先様とは、調達方針説明会、澤藤電機協会総会、合同研修会などは定期的に、情報連絡会は毎月開催し、活発なコミュニケーションを行っております。また、仕入先様の品質改善、原価低減などについての活動に積極的な協力をしています。

社員とともに

澤藤電機は、社員の人格・個性を尊重し、職場の安全、社員の健康を守り、快適な職場環境を確保するために、次のような諸制度・諸施策を講じています。

- **雇 用** 安定した雇用のもとに、人財育成を重点に取り組んでいます。
- **人権尊重** 人権を尊重し、公平・公正な人事制度のもとに働きがいのある環境を確保しています。
- **雇用の多様性への取り組み**
社員の多様な働き方の支援のため、再雇用、障がい者雇用、育児休業、ボランティア休業制度などの整備をしています。
- **安全衛生管理、健康管理**
「安全は全ての業務に優先する」を合言葉に、労働災害、交通事故、火災「ゼロ」に向けて全員参加で活動しています。また、社員一人ひとりを第一に考えて、健康に配慮した取り組みを行っています。

環境への取り組み

澤藤電機は、1997年にISO14001の環境マネジメントシステムを認証取得して以来、「環境方針」を基軸として、毎年度環境活動目標値を設定し、目標達成に全力で取り組んでいます。

主な取り組み項目は、生産活動におけるCO₂削減、製品の小型軽量・省電力化、環境負荷物質の管理と低減、排出物低減と省資源、水資源の節約などです。

環境への取り組み結果を環境報告としてまとめ、Web版サステナビリティ報告書*に掲載しています。

環 境 方 針

澤藤電機は、安全・安心なモノづくりにより、お客様の期待に応えた製品・サービスを提供するとともに、自然と調和する新しいエネルギー社会の創造に向け、次世代技術の開発を推進し、「美しい地球環境を将来へ受け継ぐ社会づくりに貢献する企業」を目指します。

1. 私たちは、持続可能なエネルギーの利用により、「カーボンニュートラル実現」に向けて取り組みます。
2. 私たちは、性能向上と環境負荷低減の両立を目指した開発・設計を推進します。
3. 私たちは、生産活動や製品・サービスが周辺環境、資源、気候変動、生態系へ与える影響を把握し、汚染を予防し、環境保護に努め、継続的改善を約束します。
4. 私たちは、環境関連法規制、および取り決められた要求事項を遵守し、従業員一人ひとりが社会的責任を果たします。
5. 私たちは、企業市民として地域社会とのコミュニケーションを積極的にはかります。

制定 1997年5月 澤藤電機株式会社
改定 2022年6月 代表取締役社長兼執行役員社長 井上 雅央

* 最終ページで紹介している Web版をご覧ください